

報告書抄録

ふりがな	きょうとふいせきちやうさほうこくしゅう
書名	京都府遺跡調査報告集
副書名	
巻次	第163冊
シリーズ名	京都府遺跡調査報告集
シリーズ番号	第163冊
編著者名	増田孝彦・岡崎研一・黒坪一樹・引原茂治・岩松保・松尾史子
編集機関	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
所在地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番03 Tel. 075 (933) 3877
発行年月日	西暦2015年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しもみずしいせき 下水主遺跡第 2・3次	きょうとふじやうよ うしてらだいまはし 京都府城陽市寺 田今橋	26207	88	34° 50' 55"	135° 45' 40"	20130924 ～ 20140308 20140426 ～ 20140903	5,560  500	道路建設
みぬしじんじゃひ がしいせき 水主神社東遺 跡第3・4次	きょうとふじやうよ うしてらだかなお 京都府城陽市寺 田金尾	26207	30	34° 50' 44"	135° 45' 53"	20130924 ～ 20140308 20140426 ～ 20140903	800  2,800	道路建設

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下水主遺跡第2・3次	集落跡 生産遺跡	中世	島畑・水田・溝・土坑・自然流路	縄文土器・弥生土器・土師器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・漆器・木製品・石器・鉄釘・鉄滓	現在の島畑の景観が13世紀後半まで遡ることが明らかになった
水主神社東遺跡第3・4次	散布地		島畑・水田・溝・土坑・ピット・窪地・自然流路	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦・石器・鞆羽口	

所収遺跡名	要 約
下水主遺跡第2・3次 水主神社東遺跡第3・4次	<p>現在の寺田・水主地区の水田区画には、条里型地割が明瞭に認められる。</p> <p>今回の調査では、13世紀後半に造成された島畑を検出し、その配置が現在の水田区画とほぼ合致することが明らかとなった。検出した島畑の上には近世までに3～5回程度の改修が認められるが、その際には島畑の上に土を盛るだけで、平面的な形は変えていなかったと考えられる。このことから、島畑が造成された時点の配置が、そのまま現在の水田区画に踏襲されているといえ、寺田・水主地区に見られる条里型地割が13世紀後半に遡ることが明らかになった。南山城地域の条里型地割の成立時期や水田・島畑といった土地利用のあり方を検討する上で重要な資料といえる。</p> <p>また、城陽市域の島畑では、江戸時代から明治時代にかけて綿などを栽培していたことが知られているが、島畑間の溝の土を分析した結果、それを裏付ける資料を得ることができた。中世段階の栽培作物については、今後の調査で明らかになることが期待される。</p>